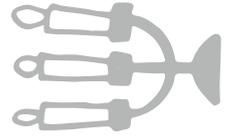




少人数でできるペープサート劇

# 初めてのクリスマス

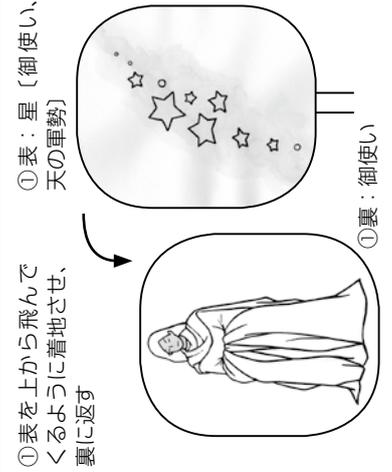


## ●シーン1 マリアへの知らせ (背景 石造りの町)

**ナレーター** 今から二千年前のこと。ユダヤの国のナザレという小さな町に、マリアという女の人が住んでいました。神様を信じる、心の優しい人でした。マリアは大工のヨセフと結婚する約束をしていました。そんなマリアのところに、ある日、神様から遣わされた御使いがやってきました。【①表】

**御使い** 【①表→裏】おめでとう、マリア。怖がることはありません。あなたは神様の思みによって、男の子を産みます。生まれたら、名前をイエスとつけなさい。

**マリア** 【②表】どうしてそのようなことが起こるのでしょうか。私はまだ結婚していませんのに。



**御使い** 生まれる赤ちゃんは、神様の子どもです。神様にできないことは一つもありません。

**マリア** わかりました。私は神様のおつしやることを信じます。神様のおことばどおりのことが、私に起こりますように。

**ナレーター** マリアの返事を聞くと、御使いは去っていきました。【①裏→表】

## ●シーン2 ヨセフへの知らせ

**ナレーター** 【③表】マリアと結婚の約束をしていたヨセフは、大工さんでした。貧しくはありましたが、神様を信じる、優しくて正しい人でした。まだ結婚する前にマリアに赤ちゃんができたことを知って、ヨセフは悩みました。その頃のユダヤでは、結婚していないのに赤ちゃんを産むのは、決まりを守らないことになって、罰を受けなければならなかったのです。

**ヨセフ** ああ、どうしたらいいだろう。こうしたら…。ああしたら…。でも…。いや、やっぱりマリアが罰を受けるなんて、そんなことはさせたくない。そつと婚約を取り消すことにしよう。【③表→裏】

**ナレーター** 【①表→裏】しかし、その夜、御使いがヨセフの夢に現れました。



シーン1と同様に御使いを登場させる

御使い ヨセフ。心配しないでマリアと結婚しなさい。マリアのおなかの赤ちゃんは、神様が特別に与えてくださった子どもです。マリアが男の子を産んだら、その名をイエスとつけなさい。この方は、みんなを罪から救ってくださる方です。

ナレーター 眠りから覚めたヨセフは、御使いに言われたとおり、マリアと結婚しました。

ナレーター **④表** 赤ちゃんが生まれる日が近づいたある日、ローマ帝国の皇帝から、住民登録をするようにという命令が出されました。みんな、自分の先祖の町に帰って、名前を登録しなければならなくなりました。ヨセフもおなかの大きいマリアを連れて、先祖の町ベツレヘムに向かいました。しかし、ベツレヘムは住民登録のために旅をしてきた人々でいっぱい。**④表→裏** 宿屋はどこも満員で、ヨセフとマリアは泊まることができませんでした。ヨセフたちが困っているのを見て、親切な人が、家畜小屋に案内してくれました。

ヨセフ **⑤表** ああ、ありがとございます！ でもマリアは大丈夫だろうか…。もうすぐ赤ちゃんが生まれそうだというのに、家畜小屋なんて…。

●シーン3 救い主のお生まれ (背景 家畜小屋)

ナレーター **②裏** その小屋の中で、マリアは男の子を産みました。元気な男の子です。

「おぎゃー、おぎゃー」と泣いています。二人は赤ちゃんを布にくるみ、飼葉桶かきにそつと寝かせました。

**⑤表** さて、同じ夜のころ。ベツレヘムの近くの野原では、羊飼いたちが羊の群れの番をしていました。静かな静かな夜です。すると、そこに御使いが現れました。**①表** 辺りはまぶしい光で照らされました。

御使い **①裏** 怖がることはありません。私はみんなのために、うれしい知らせを届けに来たのです。今日、ベツレヘムで、あなたがたのために救い主がお生まれになりました。この方こそキリストです。あなたがたは、布にくるまって飼葉桶に寝ていらつしやる赤ちゃんを見つかるでしょう。その方が、救い主です。

ナレーター **①表** すると、たくさんの天使が現れて、神様を賛美しました。「いと高き所で、栄光が神にあるように。地の上で、平和が みこころにかなう人々にあるように」

御使いたちが天に帰ると、羊飼いたちは互いに話し合いました。

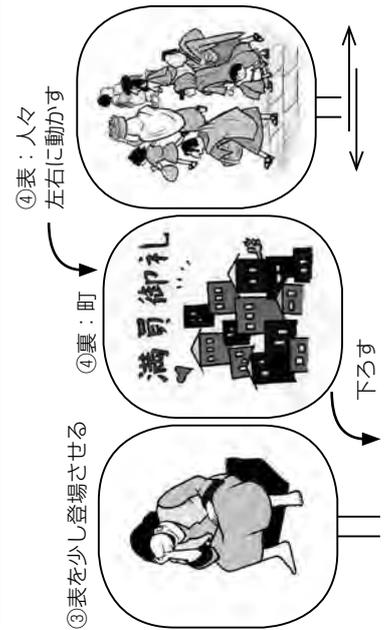
羊飼いのA 「ああ、びっくりした…。救い主が生まれたって言うていたね」

羊飼いのB 「うん、ベツレヘムだつて…。行ってみよう！」

ナレーター **⑤裏** 羊飼いたちは、ベツレヘムの町に走っていきました。**⑤表、②裏**

シーン1と同様に御使いを退場させる

③裏をすーっと落として下げる



「寝かせた」の時にすーっと下ろす



①の表と裏を返しながらか話を進める

⑤裏：羊飼い（後ろ姿）飛び跳ねるように。



そして、マリアとヨセフと、飼葉桶に寝ていらつしやる赤ちゃんを見つ  
 けました。羊飼いたちは、何もかも御使いの話のとおりだったので、神  
 様を賛美しながら帰っていきました。

●まどめのメッセージ (要旨)

こうして、ベツレヘムの家畜小屋で、救い主イエス様がお生まれになりました。こ  
 のことをお祝いするのがクリスマスです。御使いは羊飼いに、「みんなのために、うれ  
 しい知らせを届けに来ました」と言いました。イエス様は、世界中の人を罪から救う  
 ために生まれてくださった、神の子なのです。

私たちにみんな、神様を悲しませてしまう悪い心(罪)があります。でも、イエ  
 ス様が私たちの罪が赦されるようにしてくださいました。イエス様を信じる人はみん  
 な、神様の子ともたされて、神様と一緒にずっと生きていくことができるのです。だ  
 からクリスマスつてうれしくて、世界中でお祝いするんですね。



- ◎セリフを録音しておけば、人形を動かす人(最低二名)で演じることが出来ます。
- ◎対象の年齢に合わせて表現を変えたり、セリフを増やしたり、アクションを加えて集会や  
 教会学校でご利用ください。聖句を引用して朗読劇のものにするのも出来ます。
- ◎ペーパーカートのイラスト(カラー)をホームページからダウンロード出来ます。本頁の  
 教案として扱った「ガリラヤの賛歌」や「博士たちの礼拝」のお話と利用出来るペーパー  
 カートも掲載してあります。ぜひご利用ください。



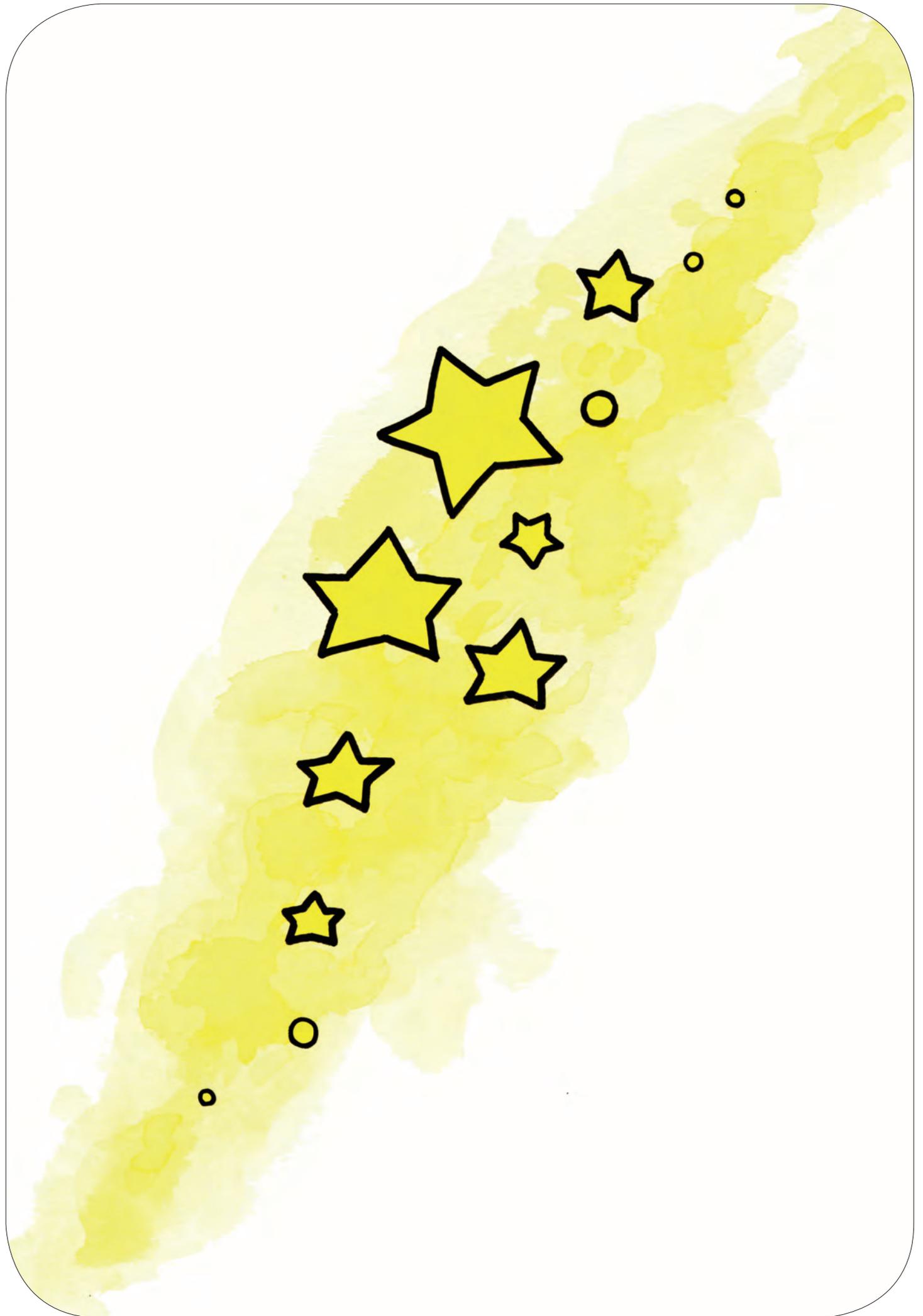
④裏から⑤表く返す

②裏：飼葉桶と夫婦

⑥表から⑤裏に返し、羊飼いを  
 退場させる

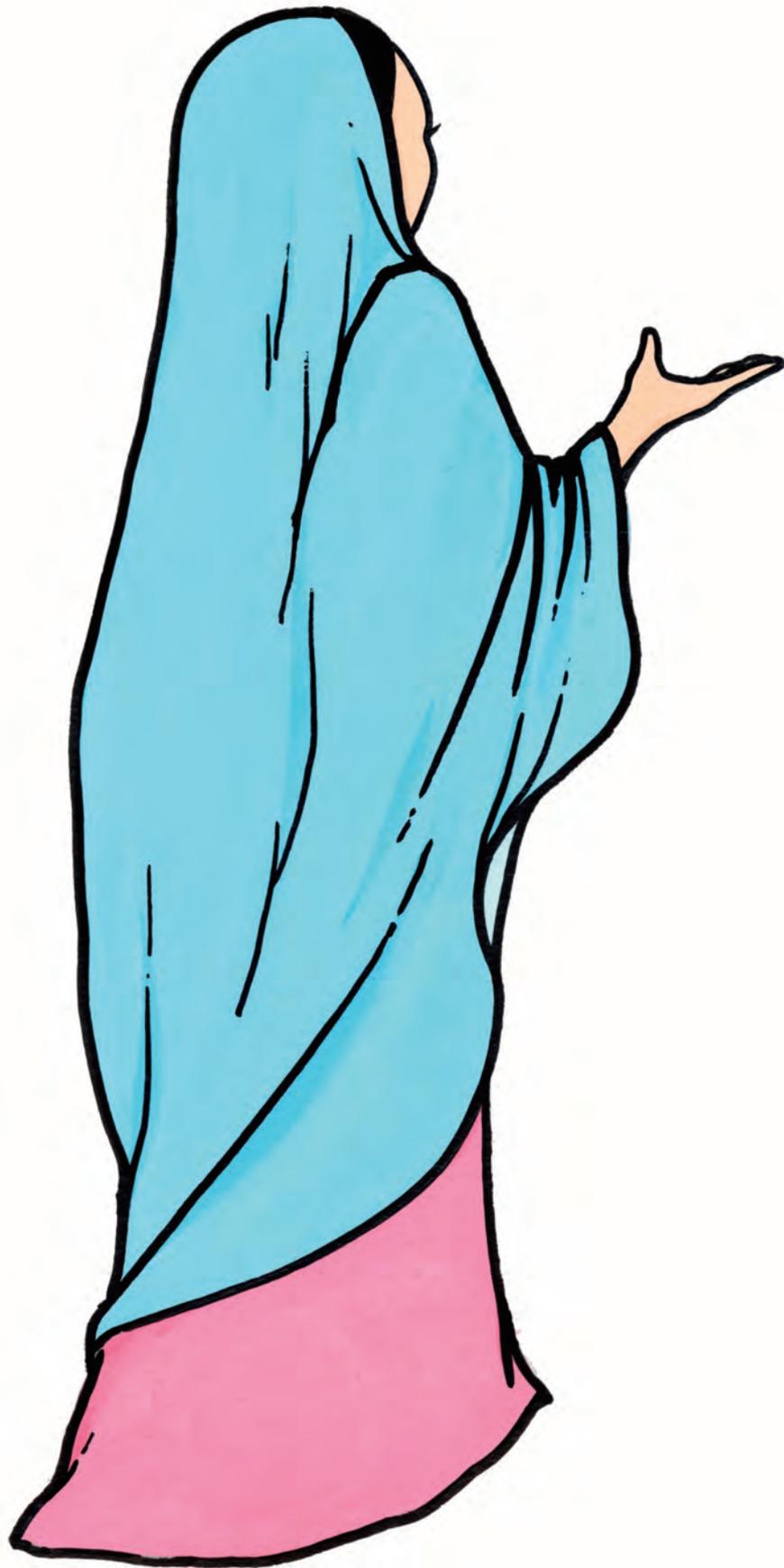
アイディア・イラスト/矢野久子  
 台本/CS成長センター







②表 - マリア (後ろ姿)











# 満員御礼







